



幼稚園へ子供を入就いて

東 基 吉

さて、宅の子供もこの三月で満三歳になるから幼稚園へ入園ようかどうしよう。何日だったか、懇意な先生に相談した事もあつたけが、あの先生の御話では、なわに幼稚園なんか詰らない。一體子供の時には、そう頭へ何か詰め込むのでないのに、幼稚園では、いろ／＼唱歌とかお話とか手細工などを教へ込まふとする。又子供の時分にはなるべく自由に活動させるべきなのに、幼稚園では兎角、活動を制限する傾がある。だからして、まあ／＼お廢しなさい、お廢しなさいといふ様に仰つて居たから、つい其儘にして居たもの、お隣りでも、この四月からお入園ださうだし、そ

れに聞いて見ると、大分善い家のお子供や、先生方のお子さんなども澤山通園しつてる様子だから先生はあんなに仰つたもの、どうにかして家にも入園て見えては、どうだらう。然し、もし萬一して、あの先生の仰つた様に詰らないもので、反つて子供の不爲になる様でも困るし、はて、どうしたものでしよう。そんなに詰らないものなら、あんな先生方がお子さんを入園筈もなからうし、夫かといつて、一方には、詰らないなんて仰る方も大分ある様だし……

まあ、そんな風に幼稚園に就いている／＼お迷になる方々が随分世間に澤山あります。私は夫は皆御尤なお迷ひだと申し上げたいのであります。で、私はこれに、子供を幼稚園に入園に就いておつ母さん方の前以ての御注意と、夫から、善良な幼稚園では、どんな工合に子供を取り扱ふべきものであるか、果して彼の懇意な先生の仰つた様に心配のあるものであるかどうかを記して見よう

と思ひます。

そこで、先づ子供を幼稚園に入れようかどうかという問題が起りましたならば、第一に其子よとの上(うへ)に就いてよく考へて見ることが必要です。即ち取り分け其子供の身體の發達が不十分で兎角に薄弱で傳染病などに感染し易い素質の子供は、何方かといへば、まづ入園させない方が宜しい精神の方から申しても、餘りに神經質で、何事でも非常に氣にするといふ風の子供は、同じく入園させない方が宜しいと思ふ。子供の時の非常な神經質は、多くは身體が薄弱な爲めであるし、又か様な子供は、例令餘程注意の行き届く幼稚園であつても、多數の子供と共同的に動作させる上に於いて、益々神經を刺戟せしむる恐があるからであります。私の考へでは、子供が非常に健康であるならば兎に角、若し親達の方で、どうだか知らんといふ疑のある時分には、先づ第一に親切で確かな小兒科醫と相談の上で、入園させる、させない

を決めるのが宜しいと思ふのであります。尤もか様な虚弱な子供の爲に出來て居る幼稚園ならば特別です。

夫で、先づ子供の方は決つたとする。そこで入園させる段になつてからが、又一つの考へねはならぬ重要な問題がある。何かといふと幼稚園の選擇、即ち、どの幼稚園へ入れてよいかといふ問題であり、御承知の通り幼稚園教育は、小學校の様な義務教育とは違ふ。ですから、この子供ならば幼稚園へやつて宜しいと決つても、さて何處の幼稚園へ必らず入れなければならぬといふ性質のものではありませぬ。氣に入つた幼稚園があつたならば、勿論通園させないで宜しいのである。子供の狀態も考へないで、又入園さすへき幼稚園のことも調べて見ないで、たゞお隣りのやつてある、何處の先生の坊ちゃんも這入つて居るだから何とかして宅のにも入園させないでは、といふ様な單純な考へから、入園させるべき幼稚園の

有様も調べて見ないで、何處でも構はず入園させるといふ風なのは、實際子供の教育について心ある親達とは申されないだろうと考へられます。

そんならば、どういふ幼稚園ならば安心して子供を入れることが出来るかというお尋ねになりますかこれは實際一言で申し述べることは困難であります、大體から申しますと、

(イ)住宅と餘り遠からぬ幼稚園が其條件の一つであります。餘り通園距離が遠いですと、通園の途中で風邪を引かしたり、夏などは暑さに當つたりする恐があるし、其他送り迎へや、又萬一の場合などには非常な不便があります。三歳や六歳の子供を、芝の端から本郷までも通園させるなどは、實際、保育の精神に沿はぬといつて宜しいと思ひます。

(ロ)適當な位置にある幼稚園といふことが又考へねばならぬ内の一つであります。適當な位置と申す意味は、子供の日々通園する途中、又園の

近邊に危険の少ない場所といふことで、例令ば其途中屢々電車の線路を横ぎらねばならぬとか、又園の近邊が、非常に雑沓を極めて居るとかは皆不適當な場所です。如何に幼稚園へ通はせたいからと云つて、間違つて電車にでも轆れ様ものならば夫こそ全で臺なしといふべきであります、又衛生上からも考へねばなりません。例令ば園の位置が非常に濕地でないかどうか、飲料水の供給は如何、其近邊の排水は十分であるかといふ様なことも、大體考へねばなりません。

(ハ)設備設計の十分な幼稚園 先づ通園距離もよし位置もよし、然らば其園はどんな出来であるかといふことを一つ考へて見る。この點で第一に運動場即ち遊園と、又遊園に相應した設備即ち樹木とか花壇とか芝生とかと云ふ類のものが備はつて居るか居らないかを、見るべきであります。私は常に考へて居る、遊園は幼稚園の生命で、遊園のない幼稚園は例令ば水の無い川の様なものだ

と、之は地方よりも殊に東京でさうなのであります、東京では、お互の住宅にさう廣々とした庭が  
ありませぬ。夫に子供と申すものは、兎角外で遊  
びたがる。往來に出て遊んでは自轉車や電車で危  
いし、といつて公園へは遠いし、實に東京には、  
子供の遊ぶ世界が乏しい、そこでこの幼稚園で以  
て、廣々とした、庭を備へて、そこで遊ばせてく  
れると。子供は満足するし、又實際子供の爲にもな  
るのでありますから、是非この遊園の適當なもの  
を備へたのが必要である。然し東京の様な繁華な  
所土一升金一升といふ場所どころなことを望むの  
は無理かも知れぬが、理想としては是非かうあり  
たいのです。

夫から、保育室の廣さは適當であるかどうか、  
風通りがよいか悪いか、光線の取り方が具合能く  
出来て居るかどうかといふ様な事も十分考へねば  
なりません。狭まるしい室に三十人も四十人も  
つめ込んで、薄暗い窓の下で晝かゝせたり、手技

をさせたりして、居る幼稚園も随分ないことはあ  
りませぬ。夫から便所の設備なども適當に出来て  
居るか居ないか、餘り保育室に近く、其上防臭材  
もやらないと見えて、絶えず、便所の臭氣に襲は  
れて居る幼稚園がないでもありません。又其幼稚  
園の園醫はどうなつて居るか、毎日出診してく  
れるか、又は病兒があつた時はどんな取扱をして  
居るかなどいふを考へて調べるのは、最も大切  
な條件であります、すべてか様な事柄は素人の方  
にでも一見して分ることですから、子供を幼稚園  
に入れるに付いては、是非一度でも二度でも、其  
幼稚園へ行つて、之等のことを觀て參る必要が大  
にるのであります、これは實際兩親の其子供  
に對する義務であります。

其他凡べての衛生上、の設備が十分注意されて  
居るかどうか、其内部のことも考へねばならない  
のですが、これは外から一見した丈では一寸分り  
ませぬから、この方は其道に關係した方々に付き

て聞き合はせば、大低何處の幼稚園はどうといふ  
 様なことが分りませう。

先づ大體、以上のことに付いて考へて見て、こ  
 れ等の條件に合はぬ様ならば、先づ其幼稚園は  
 子供を入れるに不適當と斷定して宜しいと思ひま  
 す。即ち住宅からの距離も非常に遠い、幼稚園の  
 位置も宜しくない、其他設備設計も不十分だ園醫  
 も定まつて居ないとすれば、其様な幼稚園には大  
 切な子供はやれませぬ。よし近所の誰れ彼れが、  
 揃つて入園させても一切構ひませぬ、斷然入れぬ  
 方が宜しいのであります。

次は愈く其園の内部のこと 即ち實際、子供を  
 取り扱ふ保母の問題になるのですが、これは何れ  
 號を改めて、お話することにしませう。



▲珍らしき結婚 英國の北部に在るトレルと稱する一  
 小に村て此程舉行せられたる結婚は類なきものなり四  
 人の新郎は孰れもシヨンスリーマーと云ふ農夫の子にして  
 年齢は一年宛の相違あるのみ四人の新婦も亦姉妹にして  
 シエームス、ホツサステットラーの女なるが年齢は最  
 年長の姉二十八歳にして末の妹十八歳なり此八人は一戸  
 を隔てたる隣家に居住したるものなり。

▲鱧の話 フカは生れ落ちると直ぐ力に合ひさうな相手  
 に攻撃を試みる、大鱧は人肉が大好きだ、鼻で嗅ぐ力が  
 強く遠くから人の臭ひ死骸の臭ひを嗅ぎ分けるリシテ或  
 學者の説によると同じ人肉の中でも西洋人の肉が一番好  
 ぎである、其次が亞細亞人、其又次がアフリカの黒人で  
 あるさうな、鱧が人肉を味はん爲に船に付き纏ふのは珍  
 らしくない、時には船の上に乗つてゐる荒くれ男を躍り上  
 つて水へ咬み込む、又全速力で走つてゐる大船の欄干迄  
 も飛掛つて水夫を跳ね落すこともある、或時、一人の黒  
 人の死骸を帆桁の端から水の上廿尺の高さに吊るして置  
 た處が、一匹の大鱧が追て來た甲板の上では船員一同鱧  
 が何をするかと見てゐた、すると鱧は何度も何度も躍り  
 上つて死骸を少しづつ咬み切り暫しの間に食つて仕舞つ  
 たさうである、あの大きな、廿尺から卅五六尺もある体  
 を廿尺の高さに跳ね上ぐる尾の方は實に大したもののであ  
 る『海軍雜報』鱧